

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年5月20日～2017年5月26日の推移】

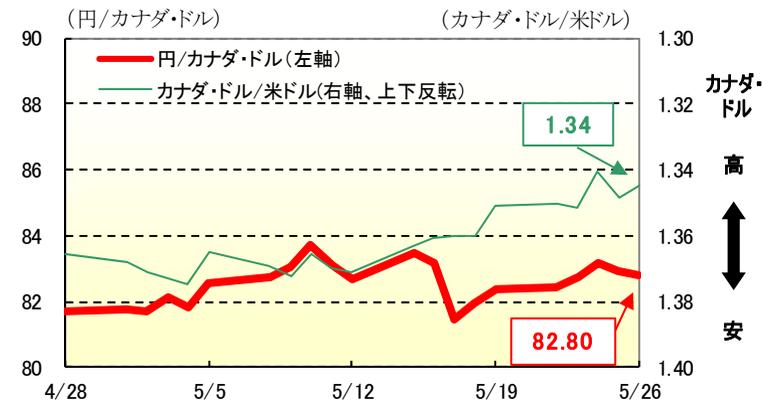
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場およびカナダ5年国債利回りは上昇しました。

週前半は米国金利や原油価格の上昇を背景にカナダの金利やカナダ・ドル円相場は上昇しました。週後半は、原油価格が下落したことや、米国で発表されたFOMC(米国連邦公開市場委員会)議事録での債券購入策縮小の議論が市場予想より緩やかなものであったことで米国金利は低下しました。それに連れて、カナダの金利やカナダ・ドル円相場の上昇幅は縮小しました。

また、カナダでは政策金利の発表があり、市場の予想通り政策金利は据え置かれました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年4月28日～2017年5月26日)



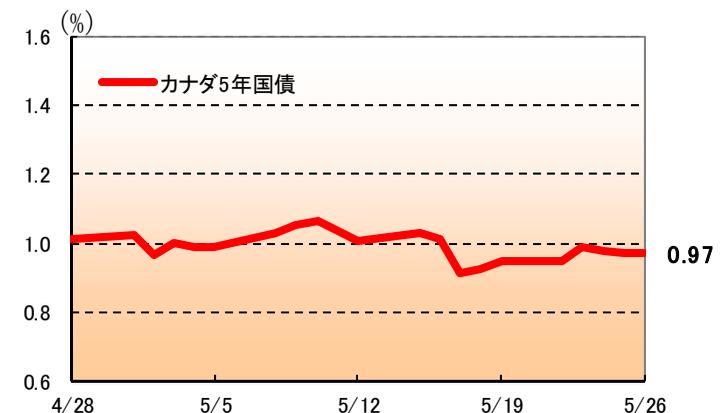
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

カナダについては、経済環境の好転などを背景に当面は政策金利は据え置かれると予想していますが、次の政策金利の変更は利上げ方向とみています。世界的にも金融政策は緩和から正常化へ向かう流れとなっており、カナダは金利上昇圧力が優勢になると考えられます。

今週は、米国、カナダの経済指標が注目材料です。米国では雇用統計、カナダではGDP(国内総生産)や貿易収支に注目が集まるとみています。これらが堅調な結果となればカナダ・ドル、金利の上昇要因になるとみられます。

【カナダ 金利推移】 (2017年4月28日～2017年5月26日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>